

映像



取締役副社長
乙田昌伸氏

ウィーブ(大阪市北区)が展開する結婚式の後から購入を検討できる記録映像無料撮影サービス「思い出プラス Movie」は、サービス開始後、1年で導入施設50会場を突破した。月間撮影件数は全国で250件以上にのぼっている。

同サービスは、“記録映像を撮っておけばよかった”と後悔するカップルを減らすことができるのが特徴。会場にとっては通常の場合提案時に断られていた映像商品において、“取り逃していた”収益を式後に取り戻すことができるというメ

開始1年で契約50会場を突破

ウィーブ

「思い出プラスMovie」

リットがある。

「万が一購入がなくても、利用施設が撮影費を負担することは一切ありません。商品の販売から納品までの一連の流れはすべてカスタマーセンターにて担当。プランナーの負担が少ない事も導入理由となっています。」(取締役副社長・乙田昌伸氏)

現在、全購入者の3割が両家両親によるもの。そのため、新郎新婦以外の新たな販売顧客に対し、アプロ

ーチ・売上につながるのも魅力となっている。

同社では、直接契約だけでなく、今後映像会社との提携し全国展開を予定。今年度は5000件の撮影を見込んでいるという。



▲両親の購入が3割ある